

2020年11月21日

関係者の皆様へ

白根学園

学園長 磯貝 康正

白根学園障害者支援施設 希望における新型コロナウイルス感染者の
発生について（第2報）

11月17日に障害者支援施設 希望の入所者1名がPCR検査で陽性だったことを受け、11月19日、保健所により希望の利用者・職員207名を対象にPCR検査を実施したところ、新たに希望入所ユニットの利用者3名の陽性者が判明しましたが、職員については全員陰性でした。

1 当該陽性者について

17日に陽性が判明した利用者1名については、当日病院に入院しています。また、本日陽性が判明した3名については、ユニット内で療養待機中です。いずれも軽症ですが、入院等について保健所等関係機関と調整中です。

2 障害者支援施設希望及び工房金魚の運営について

皆様にはご不便をおかけしますが、希望施設については、入所ユニット毎に閉鎖し、短期入所の受入れは当面休止します。また工房金魚は11月30日まで休止、グループホーム「希望」も当面閉鎖します。入所者はそれぞれのユニットで経過観察を行っており、日中活動も全面休止しています。

なお、旭区内の白根学園施設については、感染予防策を徹底しつつ、通常どおりの運営を行っております。

学園としては、基本の感染予防策を改めて徹底し、これ以上の感染拡大を食い止めるため、今後も保健所等関係機関と十分連携して対応してまいります。